



CLUB OFFICE
 京都YMCA 三条本館
 京都市中京区三条通柳馬場角
 TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MENS CLUBS
 "TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2016

5

Bulletin

2016.5.1発行

第30巻第11号通巻365号

主
題

- 国際会長 信念のあるミッション Mission with Faith
 アジア会長 愛をもって奉仕をしよう Through Love, Serve
 西日本区理事 あなたならできる! きつとできる "You can do it! Yes, you can!"
 -生きる しなやかに さわやかに- -Live flexibly and refreshingly-
 京都部部长 いつも喜んでいなさい
 メネット主任 メンと共に メネットはワイズの応援団

聖
句

平和を勧める人の心には喜びがある。

箴言12章 20節



『 東山荘 100周年 』

日本YMCA同盟総主事 島田 茂

京都プリンスワイズメンの皆様お久しぶりです。東京サンライズクラブのメンバーの島田 茂です。昨年は、区大会後に楽しい交わりの機会を持つことができました。さて、今、YMCA東山荘100年募金の達成に全国のYMCAとワイズメンズクラブが協力して取り組んでいます。私は、38年前に横浜YMCAに職員として採用され、新人研修で初めて東山荘に行きました。それまで私は、YMCAの活動には全く参加したことはなく、初めて訪れた東山荘は、富士山を臨む風光明媚な森に懐かれた広大な研修センターで、YMCAで働くことに誇りと希望を抱きました。その後、横浜YMCAのキャンプ、会議、研修、そして、家族旅行などで毎年欠かさず訪れていますが、東山荘は、単に研修センターというだけではなく、100年間YMCA運動の思想と、その思想を生きた先人達の人生=経験を後生に紡ぐ、時空を超えた場であることがわかります。世界各地で活動している仲間と東山荘で出会い、先人の思想を学び、熱く語り合い、深く考え、共に神に祈り、そして、それぞれの場所に帰り、YMCA運動を実践する。時代を築いた内村鑑三、新渡戸稲造や廣岡浅子たち明治のYMCAの指導者が、日本にYMCA運動を広げ、青年の希望ある人格形成、民主主義、男女平等の実現のために、学生YMCA夏季学校の常設会場として設立した理想が今もいきているのです。まさに、東山荘は、日本や世界、地域や地球上の様々な困難な課題に取り組み、弱くされた人々に寄り添うリーダーを育成する高い理想を実現するYMCA運動を後世に伝える場なのです。今、東山荘100年募金をお願いしています。青少年が希望をもって自らの人生を切り拓いていくために、ぜひ、ご協力ください。

最後に、京都プリンスワイズメンズクラブがこれからも世界を見つめ、地域に奉仕する団体としてワイズダムを拓けることをお祈りいたします。

会長主題

喜び楽しみ
皆で笑おう

会長 蔦田 茂夫
 副会長 田中 邦昭
 三村 良行
 書記 森 伸二郎
 会計 小野 敏明
 林外会長 蔦田 智美

進修月間

Leader Training

5月 例会案内

11日(水) 通常例会

関西盲導犬協会さんが来られます。その後、京都部会の具体的な準備を検討する例会です。

22日(日) かもがわチャリ ティーラン

YMCA恒例の行事。今年は調理パンの販売で協力いたします。お手伝いをよろしく。

例会出席

4月第一例会	14名
4月第二例会	10名
在籍者数	16名
メンバー	0名
出席率	93.8%

BFポイント

切手	pt
現金	円
累計	0円

ファンド

	0円
累計	336,434円

ニコニコ

4月第一例会	8,000円
4月第二例会	0円
累計	50,000円

4月第一例会

2016/4/6
澤田 哲平



今回の例会も引き続き、今年の9月に開催される京都部部会に向けての会議です。ホストとして自信を持ってお迎えできるよう、趣向を凝らした演出のアイデア出しや予算配分など、熱い議論が交わされました。

私自身、入会して間もないため部会の参加経験がないのですが、(しかもホストとして!)企画担当の一員として、出演いただく方々の選定や交渉などもさせていただきました。どのような部会になるのか、どのような方たちと出会えるのか、とても楽しみにしています。

また次期は、広報・ブリテン広報事業委員長を務めさせていただくことになりました。プリンスクラブの魅力を内外に伝えられるよう、まずは自分自身がワイズメンズクラブでの活動を楽しみたいと思います。



4月第二例会 ファミリー例会

2016/4/22
東広島クラブ 谷本 秀康



4月17日(日)京都プリンスクラブ第710回ファミリー例会に東広島クラブから参加しました。京都プリンスから12名、東京サンライズからは小山御夫妻と長津メンが参加されましたが、前日から雨模様の天気、当日の朝も集合時間の9時には土砂降り状態になっていました。せっかくの景勝地赤目四十八滝散策も台無しになるのではないかと気をもんでいましたが、マイクロバスで京都東ICから高速を乗り継いで目的地の赤目温泉に到着する11時頃には嘘のように雨も上がり、爽やかな薫風が肌に心地よい絶好の散策日和となりました。これも西村博ドライバー委員長をはじめ当日参加したワイズメン・メネットの日頃の行ないがよほど良いからに違いないと1人悦に入っていました。

対泉閣に荷物を預けるとすぐにサンショウウオセンターを出発して、新緑が目にしみる渓谷沿いの遊歩道を木漏れ日を浴びながらの滝巡りが始まりました。霊蛇滝、不動滝、乙女滝、千手滝、滝ヶ壺、布曳滝と続く山道は想像以上に勾配が急で、場所によっては二人の西村マゴメットや高齢の参加者?には過酷なチャレンジと思いましたが、そんな心配をよそに大小様々な岩の間を縫うように流れる清流と静寂を切り裂いて落ちる滝の音に励まされながら全員が往路・復路を無事に踏破しました。

程よい疲れと空腹感を癒してくれたのが、戻ってきた我々を待ち受けていた囲炉裏茶屋「ごえもん亭」の網焼き料理と露天風呂「半蔵の湯」でした。絶品の伊賀牛、種々の魚介類や野菜の網焼き料理を囲んでワイズ談議に花が咲きました。露天風呂では満腹感に浸りながら悠久の時を超えてかつて伊賀忍者が修業の場として選んだというこの渓谷の絶景を堪能することができました。

3月末に東京で開催されたDBC3クラブ交流会で西村ワイズから今回のファミリー例会へのご招待を受け、参加できたことは本当に幸運でした。このような形でDBC交流がさらに深められたことに心から感謝しています。次の機会にもぜひ参加したいと思います。



廣井邸夜桜観賞会

2016/4/8
斎藤 謙治



4月8日午後7時から廣井邸にて夜桜観賞会を催しました。前日までの風雨に花の散り具合が心配されましたが、樹齢100年は超えると思われる古木の枝垂桜は満開の艶姿を見せてくれました。ライトアップされた淡いピンク色は妖艶な気配を漂わせています。

前もって廣井ワイズが買い求めて頂いた豪華な折詰め弁当を開けたら風雅な時の始まりです。参加者はニューフェースの今西、澤田ワイズの両名で若返り。榎木 飯尾メネット 斎藤メネットの三名の女性陣で和み計13名でした。花冷えの夜も、ログキャビンの薪ストーブを焚き、各自の趣味についての熱弁にヒートアップ。楽しい時間は瞬く間に過ぎ、日付けが変わる寸前で閉会となりました。お世話になった廣井ワイズに感謝申し上げます。



トライアングルDBC交流会

2016/3/26
森 伸二郎



JR山手線上野駅不忍池口正午頃集合で、今回の交流会が始まりました。私がそこに着いた時には、東広島の谷本ワイズ、プリンスからの飯尾ワイズ、西村ワイズ、蒔田会長夫妻、岡西各夫妻の顔がすでにありました。

挨拶もそこそこ、サンライズのメンバーの案内で、地下鉄に乗って浅草浅草寺へ向かいました。表参道は人混みでいっぱい。横浜国際大会のエクスカッションで訪れた時は、人影もまばらだったのに…。はぐれないようにと、お互いを確認しながら参道を本堂へ。

浅草寺を北へ抜けて言問橋まで来ると、目の前にスカイツリーが。京都組はみんな、カメラを取り出してスカイツリーとのツーショット。その後は、地域コミュニティーバスに乗り込んで、都電荒川線の三ノ輪橋駅へ向かいました。

以前から一度は乗ってみたいと思っていた都電に初体験。今回の交流会参加の第一目的は、この都電。地域の足として重宝されているのか、車内はすし詰め状態。30分以上かかって庚申塚駅に到着しました。

ここからは通称「年寄りの原宿 巣鴨商店街」を歩きました。真っ赤な下着(還暦用)を売る店が並ぶ中、何故か明石焼きの店があり、ちょっとくたびれ気味の京都組は、迷わずに飛び込んで「ビール!」。サンライズのお散歩例会は、結構ハードに歩き回ります。

一息ついて蘇り、いよいよ最終目的地へと。山手線で池袋へ、地下鉄を一駅乗って要町で下車。そこから商店と民家が建ち並ぶ道を10分ほど歩いて着いたところが、BBQ会場のカフェレストラン。ここで準備をさせていただいていたサンライズのメンバー数人と合流。富士五湖クラブの原夫妻も来られ、そして西村メネットも到着。カフェレストランの中は満員状態。3クラブの各会長の挨拶に続き、全員が一言自己紹介で場も和み、過ぎしDBC交流会の思い出話に、ワイズ談議と会場が多いに盛り上がりました。そんな最中ではあったのですが、私夫婦は一足先に会場を去り、特急あずさの人となりました。サンライズのみなさん、楽しく有意義なお散歩例会を、ありがとうございました。



夜桜フェスタに参加して

2016/4/17
京都クラブ 佐々木 稔

最高の天候に恵まれた夜桜フェスタに感謝してのスタート。亀井理事長・神崎総主事の挨拶、各ワイズメンズクラブの招待で多くの日本語学校留学生、舞鶴YMCA生徒達も紹介された後、楽しいステージでの演奏の始まりです。ノーベルマンのギター演奏でステージが始まり、参加の皆さんの、お待ちかねの各ワイズメンズクラブ提供の美味しい屋台での食事、少しおながかふくれた処で、第2部の演奏は、ドゥニアダンス(バンド名)アフリカ大陸の打楽器の演奏と南米の音楽が始まり太鼓のリズムで踊る子供たちがいるなか、アフリカからの留学生の1人が懐かしそうに聴き入っていました。本日のメインイベントは、桜のライトアップと昨年も演奏をお願いした尾辻優衣子さんの二胡奏者と共に桜に点灯、参加された皆さんは満開の八重桜をシャッターに収めたり留学生達はみんなで記念撮影をしたり、美味しい食事と満開の桜を満喫されていたと思います。前日の天気予報で、非常に心配していた夜桜フェスタでしたが、心配もどこ吹く風、リトセン開設50周年第17回夜桜フェスタも中村実行委員長のお礼の言葉で終わる事が出来ました。

フェスタで熊本大地震被害者支援募金を目的で、200名を超える参加者が募金に協力され寄贈品バザーの売上金と共YMCAを通して熊本に、最後に前日からのテントの設営、食器洗いと協力頂いたワイズのメンバーに感謝をします。



東日本大震災から5年経て、YMCAとNPOの支援活動状況を調査するために4月初旬に仙台、福島、盛岡と三日間被災地を回りました。5年たった今も17万人の人々が現在も避難生活を続け、高齢者の多くは、自立した生活に戻る気力を失いかけています。支援を続けているNPOスタッフから被災された方が通常の生活が戻れない中で「心が折れてしまっている」という言葉を伺いました。折角できたコミュニティも仮設から移住する人々で再びバラバラになり、残された方々は、孤立しています。当然のことですが、75才の方は80才になり、これから新しい生活を始めるということに気力を無くされていることが察せられます。まだまだ被災された方々に寄り添う活動の必要性を痛感しました。

福島では5千人以上の子供と家族がYMCAのキャンプに参加しており、YMCAを福島に設立して欲しいという声もありました。盛岡YMCAは、宮古でボランティアセンターを運営してきましたが、支援内容は変化しています。当初より復興の担い手となるユースのリーダーシップ育成を支援活動の目標としてきましたが、大震災を経験した小学生は高校生となり、キャンプや野外活動のジュニアリーダーとして参加するようになりました。盛岡では、この4月岩手大学等の新入生にYMCAのリーダーたちが自主的に呼び掛けてボランティアリーダー募集を行いました。多くの新1年生が集まりました。

仙台YMCAでは、学生やユースボランティアが主体的に活動し非常に活気がありました。改めて、YMCAの存在の意義を実感しました。

東日本大震災支援の継続を決意した矢先に、4月14日に熊本で大きな地震が発生し、更に、新たな活断層での地震が4月16日未明に立て続けに発生しました。49名の方が亡くなられ、1千人以上の方が怪我を負っています。2週間で900回以上の地震が続く今回の地震で熊本県の人々は毎日不安な中で生活しています。

熊本YMCAのスタッフとボランティアの方々は、全国YMCAから駆け付けたスタッフとともに、町から管理者として委託されている益城町総合運動公園(1200名が避難)と御船町スポーツセンター(200名が避難)の二つの避難所、熊本市内YMCA各センターでの地域支援、そして、阿蘇市にある阿蘇YMCAキャンプ場を拠点とした災害救援支援活動を行っています。今も熊本YMCAのスタッフの多くは、自らも車などで避難しつつ、困難な状態での活動を継続しています。阿蘇YMCAでは、阿蘇市社会福祉協議会災害ボランティア支援センターと協働で、26日からボランティアを受け入れ活動しています。YMCAは、関東大震災、伊勢湾台風、阪神淡路、そして、東日本大震災など、多くの国内外の災害で救援・復興支援活動をしてきました。YMCAは、これまで長く培った経験と国内・世界のネットワークを生かして、東北での復興支援の活動を継続しつつ、今後長期にわたることが予想される復興支援活動に熊本YMCAと全国YMCAの協力で取り組んでいきます。

第一回Ster light Warship

2016/4/4
岡西 博司



4月4日(月)夜7:30~8:30

京都YMCAの地下マナホールにて、キリスト教の礼拝が兼松豊牧師の下、行われた。パレスクラブの大野喜宏ワイズの肝いりで、開催にこぎ着けたように思う。

YMCA自体、本来はクリスチャンの集まりからスタートしたと思われる。それゆえ、C(クリスチャン)が、明記されているのだ。し

かし、現在においては、あらゆる宗教を受け入れている。「一党一派に偏しない」と、はっきり謳っている。

大野さん曰く、「本来、YMCAは、キリスト教から生まれてきた。今のワイズメンにおいても、キリスト教を食わず嫌いの人が多い。又、キリスト教の教会においても、単なる聖書の解釈を説教と勘違いしている感がある。本来そうではなくて、自分の人生をどう生きるかを真剣に考え、その指針を示してくれるのが教会の役目だと思う。そこで、是非、このYMCAにおいて、今一度共に祈り、共に人生を考える機会を持つことが出来れば幸いである。一人でも多くのワイズメンと共にこの機会を持ちたく思い、今日に至りました。」

クリスチャン、ノンクリスチャン関わらず、一緒に礼拝を持ちましょう。

今回も、感動を覚えるような説教で、感銘を受けました。

この企画、素晴らしいと僕も思い、一人のクリスチャンの端くれですが、応援したく思いました。兼松牧師も、少々個性が強すぎる処もありますが、一人の友人として、共に活動したく思います。どうぞ皆様、是非一度、参加してみてください。決して損にはならないと思いますよ。毎月第一月曜日午後7:30~8:30です。お待ちしております。





清水 誠治郎
(大阪西)

うなぎの森

今、中西部では“ウナギの森”運動を展開しています。では“ウナギの森”てなんや？と思われる方々の疑問に答えて少しだけお話をします。

その昔日本の沿海は魚の宝庫でした。なぜか？日本は九州から北海道まで帯状の列島で、世界でも例を見ない豊富な樹種を持つ森林王国です。単一樹種のアメリカやカナダ、ロシア等と異なり南北に長い列島と起伏の多い山々により、美しい水と空気に恵まれ、その地方地方で様々な樹種があり夫々が優れた特性と機能を持っています。針葉樹では杉、ヒノキをを初めとしてクロ松、落葉松エゾ松等、広葉樹(落葉樹)に至っては数え上げればきりが無いほど豊富です。

樹は林を造り森を形成していきますが、森は木材を産出するだけでなく洪水や濁水を調節し、美しい景観や清々しい香りを提供して、人の心を豊かにする効力は広く知られるようになりました。けれども森を造るには気の遠くなる永い時と手間をかけなければなりません。一朝一夕で出来るものではなく、先人は何代にも亘って血のにじむ努力を重ねて森を造り守ってきました。

樹は伐採されて製材され、木材に生まれ変わります。木材は樹齢の年月以上に長持ちする耐久力があります。500年以上生きた樹は、第二の人生の木材になっても500年以上、人の為共に暮らし続けています。特にヒバや檜、けやきは伐った時より100年以上にわたって強度が増し続けるそうです。

樹は生きている間、葉を茂らせ木陰を造り、花や実をつけて動物たちの餌となります。動物はその見返りとして排泄物を出し、それが樹や土壌の栄養となり、地中から川へと流れ海にそそぎ込まれます。

腐葉土に含まれるフルボ酸という成分が、多く含む豊かな川になり海にそそぎ込まれて多くの動物性プランクトンが増え豊かな海となり、それを求めて魚が群れをなします。

その昔、淀川(大阪では長柄付近)には多くのウナギが生息していたようですが、今やイタセンパラと同じ絶滅危惧種になっています。

そこで、淀川の水源の一つである北摂山系に植樹をして、豊かな森を復活させ“森は海の恋人(大阪版)”と称して植樹活動をしようとしています。だから“ワイズの森づくり・うなぎの森”なのだ。

中西部のワイズとしては、第一回目の植樹を5月8日に高槻市の神峰山寺境内にて、YMCAの子供たち40名を含めて300人の人達が集まって行う予定です。植樹する券は完売していますが見学は自由です。

私の孫(小学4年生)が私の年に成る頃、淀川がウナギの名所になっている事を夢見て…。

プリンスクラブ・メンバー紹介

蒔田 茂夫 (まきた しげお)



2012年12月に入会させて頂きましたのでワイズ歴はまだ3年と少しです。入会のきっかけは、ゴルフ練習場で岡西ワイズと出会いお誘い頂きました。当時、仕事と家庭とゴルフの繰り返しの毎日だったわたしのライフスタイルにワイズを加えて頂いた岡西ワイズには感謝しています。

大学を卒業後、自動車会社に就職しました。27年前の事です。実はその頃取引先の方に連れられ一度ワイズの例会にゲストとして参加したことがあるのです。その時一緒に参加したのが今わたしの妻であります。縁を感じます。

現在は運輸業に転職し20年が経ち、妻と大学4年の息子と高校3年の娘の4人で暮らしています。

プリンスクラブでは次期、京都部会のホストやクラブの30周年など大きな企画があります。わたしにとっては当然初めての経験であり今から少し緊張していますが楽しい事でもあります。わたしにできる事はわずかかもしれませんが精一杯頑張りたいです。皆様、今後ともどうぞ宜しくお願いします。

1. 第12回インターナショナル・チャリティーラン参加・協賛申込 受付中

第12回インターナショナル・チャリティーランを5月22日(日)に開催いたします。

在京ワイズメンズクラブの皆様には、当日スタッフや屋台出店などご協力いただきます。

宜しくお願いいたします。

日時:2016年5月22日(日) 9時15分～15時30分

場所:鴨川公園 ※雨天決行

お問合せ:京都YMCAチャリティーラン事務局

(075)231-4388/(FAX)075-251-0970

(E-Mail)c-run@kyotoymca.org

2. アクアフェスティバル

5月29日(日)に京都YMCAの5Fプールでアクアフェスティバルを開催いたします。

アクアフェスティバルとは、プールの中で様々なゲームをしたり、みんなで曲に合わせて踊ったり楽しくあそんでプールを好きになってもらうイベントです。

詳細が決まりましたら、京都YMCAホームページにてご案内いたします。

3. 会員オリエンテーション

維持会員BとしてYMCA運動を積極的に担っていかうという意欲のある方を対象に、YMCAについて理解をより一層深めてもらうための会員オリエンテーションを開催いたします。

京都YMCAに入会して1年以上の方で、定款に定められた目的に賛同し、維持会員Bとなる志のある方は、ぜひご参加ください。

日時:2016年6月13日(月) 19時00分～

場所:京都YMCA三条本館 201号室

内容:京都YMCAの使命、日本YMCA基本原則について/京都YMCAの組織と事業について会員活動について

お申込み:申込書に必要事項をご記入のうえ、6月6日(月)までにYMCA受付またはFAX、E-mailにてお申込みください。

(075)231-4388/(FAX)075-251-0970

(E-Mail)c-run@kyotoymca.org

4. 2016年度会員協議会

公益財団法人京都YMCA第5回会員協議会を開催いたします。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

日時:2016年6月24日(金) 19時00分～

場所:京都YMCA三条本館 地階マナホール

内容:リブランディングについての報告、京都YMCAの一年の事業報告など

連絡先:事前に欠欠連絡を京都YMCA本部までご連絡ください。

(075)231-4388/(FAX)075-251-0970

(E-Mail)c-run@kyotoymca.org

ごめんやっしゃ、YMCAさん

今回は、本部に居られる浅井陽子さん取材させて頂きました。浅井さんは、高谷さん、酒井さん、神崎さんという3代の総主事のもとで仕事をしてこられました。うん十年の勤務経歴を持っておられます。

「入職したのは、YMCAに予備校があった頃です。斜め向かいのビルにも予備校の教室がありました。」(そう言えば、有りましたね)進学教育部に2年間いた後は、ずっと本部です。岡西さんは、ワイズに入られて何年ですか?逆に聞かれてしまいました。私の方が少し長いですね・・・なんて言われちゃいました。これからは宜しくお願い致します!!

YMCAの良いところは何か?との問いかけに、YMCAは人を大切にするとところが一番の魅力ですね、というお答えを頂き、僕はなぜか新島襄の「人一人は大事なり」という言葉を思い出してしまいました。

いろんな主事の方たちから教えていただいた「当たり前のことを当たり前きちんとすること」とか「どんな仕事も愛すること」は、忘れてはいけません、って教えられました。こんな僕ですが、これからはよろしくご指導お願い致します。



4月度 役員会報告

報告事項

- チャリティーランでは、調理パンを販売
午前9時現地集合
- 舞鶴クラブ設立総会は、6月19日舞鶴にて開催予定
- 盲導犬協会募金の贈呈は、5月第一例会にて行います。

承認された事項

- なし

5月 スケジュール

- 11日(水) 第一例会
19:00 グランドプリンスホテル
- 22日(日) かもがわチャリティーラン
9:00 鴨川公園
- 25日(水) 役員会
19:30 京都YMCA
- 25日(水) 事業報告書提出締切
森書記まで

5月



11日 澤田 哲平 ワイズ

記後集編

あと少しになりました。自クラブの方々だけでなく、いろんな方に書いてもらいたく、彼方此方に頼んでいます。書く機会が減ってみんな喜んでくれるかな!!